

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	人権地域フォーラム開催事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権 課		
総合計画体系			根拠法令計画など	人権教育および人権啓発の推進に関する法律		
基本政策(大項目)	1	健康で安心して暮らせる鳴門づくり	事業期間	開始	平成	4 年度
政策(中項目)	2	人にやさしいいきがい都市 鳴門			終期	未定
(小項目)		人権				
施策	01	人権の尊重				
基本事業	2	人権意識の高揚				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び板野郡5町住民														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	フォーラムを通して、一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権が尊重される社会の実現に向けて開催し、差別のないまちづくりを推進する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>260</td> <td>270</td> <td>280</td> <td>290</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	参加人数	260	270	280	290	300	人
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
参加人数	260	270	280	290	300	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決と、差別のないまちづくりを推進するためには、広域的な教育・啓発を図る必要があるため、鳴門市と板野郡5町の共催で開催し、地域に根ざした人権啓発の在り方を共に学び共に考えるため平成23年8月18日も鳴門地域地場産業振興センターにおいてパネルディスカッション形式で人権問題研修会を実施した。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 アンケートへの回答数	142	168	270	280	290	枚
	2 アンケート調査に参加いただき、フォーラムの内容について理解できた・ほぼ理解できたと答えた構成比	97.1	94.1	100	100	100	%
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	参加人数	263	280	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		103.7	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	313	312	315	315	315	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	152	152	152	152		152
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	161	160	163	163		163
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,108	1,108	1,108	1,108	1,108	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		1,421	1,420	1,423	1,423	1,423	千円	

【事務事業名：人権地域フォーラム開催事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	2012年8月2日(木)、鳴門市地域地場産業振興センターにおいて、「ひとごと」から「わがこと」へをキーワードに、パネリストや当日出席の方々からの意見を聞きながら、一人ひとりの人権意識を磨く「語り合いの学習」を開催した。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	同和問題への関心が薄れつつある現状で、同和・人権問題への関心を深めていくためにも本事業は必要である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 人権の尊重 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市内外から多数の参加者があり、お互いに意見を述べ合う「語り合いの学習」が実現されており、差別のないまちづくりという事業目標の達成に有効である。
<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	なお一層、事業効果が発揮できるよう努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼			
	どのように改革するのか				